



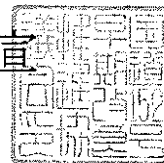
浜松市議会議長
和久田 哲男 様

要 望 書

国道152号（水窪町奥領家～佐久間町大井）
の整備促進について

令和 4年 1月 24日


国道152号早期改良推進協議会 会長 知久勝宣



私達が社会生活を営む当地域（佐久間町一部及び水窪町）は少子高齢・過疎化が進み、高齢化率は、60%台と深刻な状況であり、この課題解決に向けて、産業の振興や道路網の整備を進め、地域交流の活性化や魅力ある地域づくり、安全な生活基盤づくりに取り組んでいく必要があります。

生活基盤の基礎となる国道152号は、点在する集落と浜松市街の中心部を結ぶ交通の要となっています。

しかしながら、急峻な地形や脆弱な地質などから斜面崩落などの災害によって幾度も通行止めとなり、見通しの悪い迂回路を走行するなど、常に不安と危険と隣り合わせの生活を強いられております。

また、高規格道路の三遠南信自動車道は、佐久間川合ICまで（一部鳳来峡IC～東栄IC間は未開通）整備が進んでいますが、水窪佐久間道路の開通には、長い年月を要することが想定されます。

今後、水窪佐久間道路の工事が着手されるなか、当地域における国道152号の役割は以前にも増して大きく、拡幅改良・防災事業の整備促進に関する下記の事項について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 水窪町奥領家～佐久間町大井（13.6km）区間の道路防災
点検要対策箇所及び幅員狭小箇所の整備については、計画的に
推進すること。
2. 三遠南信自動車道の工事用道路としての利用が予定されるこ
とから、国土交通省と協議の上、大型車等の待避所整備を推進
すること。
3. 舗装の損傷が多数見受けられることから、舗装修繕を推進する
こと。

要望箇所位置図

